

令和5年度 事後評価シート

【事務事業シート（政策的経費）】

1

当初

事 項	一般就労障がい者ピアサポーター養成事業費（東予）										予算主管課		障がい福祉課	
事 業 概 要	障がい者同士のサポート体制を整備するため、就労に関する身近な問題を同じ立場で相談・アドバイスできるピアサポーターを養成し、障がい者の就労定着率の向上を図る。										始期		R3	
											終期		R5	
K P I	養成研修受講者数													
	KPI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度				
	時点・期間	R4年度		時点・期間	R5年度		時点・期間			時点・期間				
	現状値	29	人	目標値	45 人		目標値	人		目標値	人			
				実績値	42 人		実績値	人		実績値	人			
				達成率	93.33 %		達成率	%		達成率	%			
	コ ス ト			最終現計予算額	939 千円		最終現計予算額	千円		最終現計予算額	千円			
決算額				928 千円		決算額	千円		決算額	千円				
5 年 度	要因分析	評価年度（「達成率100%未満」の場合、要記入。） 研修受講者は、委託事業者（各障害者就業・生活支援センター）の登録者から募集・決定したが、仕事の都合や体調不良等により定員（5人×3圏域×3ヶ年）を満たすことができなかった。 総括（事業最終年度の場合、要記入。） 3ヶ年で42人のピアサポーターを養成し、延べ185人が交流サロンへ参加することにより、職種や立場の垣根を越えたピアサポート活動の推進及び地域ネットワークづくりを進めることができた。令和6年度以降は、委託事業者を核にピアサポート活動を継続し、裾野拡大を目指す。												
	見直し方向性		見直し内容の説明（維持・廃止・改善・大幅見直し（事業組替等））											

2

当初

事 項	障がい者介護事業就労促進事業費（南予）										予算主管課		障がい福祉課	
事 業 概 要	障がい者の就労先の選択肢が少ないことに加え、高齢化が著しく介護人材の確保が求められる南予地域において、障がい者の介護事業への就労を支援することで、賃金工賃の向上と、介護人材の確保を図る。										始期		R4	
											終期		R5	
K P I	介護事業所から障害者就労支援事業所への業務委託従事者数													
	KPI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度				
	時点・期間	R4年度		時点・期間	R5年度		時点・期間			時点・期間				
	現状値	46	人	目標値	60 人		目標値	人		目標値	人			
				実績値	54 人		実績値	人		実績値	人			
				達成率	90.00 %		達成率	%		達成率	%			
	コ ス ト			最終現計予算額	1,253 千円		最終現計予算額	千円		最終現計予算額	千円			
決算額				1,114 千円		決算額	千円		決算額	千円				
5 年 度	要因分析	評価年度（「達成率100%未満」の場合、要記入。） 事業所間のマッチングによる新たな業務委託契約等により、8人の従事者数が増加したものの、感染症防止対策のため外部の者の受け入れをしていない介護施設が多く、障がい事業所への業務委託が伸び悩んだため、未達成となった。 総括（事業最終年度の場合、要記入。） 介護職員初任者研修モデル事業の実施により4名の障がい者が資格を取得した。今後、一般就労へ向けて就職活動を行う予定があるなど、KGI実績値の向上に好影響を与えることが期待できる。令和6年度以降は、介護事業所からの業務委託事例等を共有することにより他施設へ取組みを拡大させる。												
	見直し方向性		見直し内容の説明（維持・廃止・改善・大幅見直し（事業組替等））											

